

## 平成 26 年度防災研究所研究発表講演会

平成 26 年度防災研究所研究発表講演会を、平成 27 年 2 月 23 日、24 日の両日にわたり、宇治おうばくプラザ、宇治研究所本館にて開催しました。23 日午前は、本研究所の大志万直人所長の挨拶の後、第 2 回 DPRI Award 授賞式が執り行われ、メキシコ国立自治大学工学研究所 地球物理学研究所教授 Dr. Francisco José Sánchez-Sesma に賞状と記念品が授与されました。続いて、受賞記念講演 Ambient Seismic Vibrations in Seismology and Earthquake Engineering (地震学・地震工学における微動・脈動の利用について)、災害調査報告 5 件 (続発する日本の水蒸気噴火：井口正人教授、2014 年長野県北部の地震とその被害調査：後藤浩之准教授・土井一生助教、山梨の雪害—その教訓は活かされたか—：山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 鈴木猛康センター長・教授、2014 年の豪雨と土砂・水災害—降雨・地質・地形からみた斜面災害—：松四雄騎准教授、2014 年の豪雨と土砂・水災害—土砂・洪水の氾濫特性—：竹林洋史准教授) が行われました。今年度は所長挨拶～災害調査報告までの様子をインターネットによるライブ中継を行い、233 名が視聴されました。

一般講演は、総合防災、地震・火山、地盤、大気・水のテーマ別に 5 会場に分かれて、防災研究所の最新の研究内容が紹介する 148 講演が行われました。また 24 日 12 時～14 時のポスターセッション・コアタイムでは、32 件のポスター発表が行われ、活発な意見交換がなされました。2 日間で一般市民、官庁・法人、民間企業、学内外の研究者等延べ 380 名を超える参加者があり、盛況のうちに終了しました。また、今年度も若手研究者の積極的な発表と研究発表講演会のいっそうの活性化を図ることを目的とした「優秀発表賞」が設けられ、優れた発表を行った 12 名の研究者や大学院生に対して、大志万直人所長から賞状が授与されました。



